

市政クラブ行政視察研修報告書

この度、平成26年度市政クラブ会派行政視察を終了し終了したので、その内容を下記の通りに報告致します。

平成26年8月4日

名取市議会

議長 山口 實 様

市政クラブ 代表 相澤 祐 司



記

1 平成26年7月9日（水）～11日（金）

2 参加人員 相澤 祐 司
相澤 雅

3 視察地及び調査事項

【京都府長岡京市】

平成26年7月9日（水）午後1時30分～3時30分

1 保育園・老人介護複合施設整備事業について

2 認知症施策総合推進事業について

(イ) 事業の経緯について

(ロ) 成果と今後の課題について

【岐阜県岐阜市】

平成26年7月10日（木）午前9時30分～11時30分

1 まちなか歩き構想関連事業について

（イ）事業計画策定の経緯について

（ロ）成果と今後の課題

【愛知県瀬戸市】

平成26年7月11日（金）午前10時～12時

1 アグリカルチャーネットにつて

（イ）計画策定の経緯について

（ロ）成果と今後の課題につて

行政視察報告書

平成26年7月28日

視察場所 ・ 京都府長岡京市

視察月日 ・ 平成26年7月9日

1. 長岡京市の概要

面積・19,18km²

人口・80,214人 ・ 世帯数・34,668世帯

交通・東部をJR東海道本線・中央部を阪急電鉄京都線がそれぞれ並行して通過、京都へは10~15分、大阪へは26~40分の処にある、平成25年4月に開通した長岡京ICと同年12月に開業した阪急西山天王山駅は隣接し、高速道路の駅と鉄道集えの駅、高速バスの駅といった新しい形の交通結節点となっている。さらに、東海道本線の東側には東海道新幹線・国道・171号線が縦走している。主要事業所・パナソニック(株)デバイス社・三菱電機(株)京都製作所・(株)村田製作所・三菱製紙(株)京都工場・サントリー酒類(株)京都ビール工場・日本電産シンボ(株)。

特産品・竹工芸品・たけのこ加工品・花菜(京のブランド産品)・千両2号ナス等。

観光・長岡天満宮・光明寺・乙訓寺・柳谷観音楊谷寺・勝龍合施設寺・長法寺・中山修一記念館・勝竜寺城公園・今里大塚古墳公園・恵解山古墳・八条ヶ池ふれあい回遊のみち・サントリー酒類(株)京都等。

視察調査事項

1. 保育園・老人介護複合施設整備事業について

a. 事業の経緯について。

平成22年

7月・京都府、府有資産活用課が市町村に対し、府の未利用資産について利活用ニーズについて照会。

8月・市では、保育所用地として購入又は賃借のうえ、社会福祉法人に無償貸与し、民設民営の保育所を整備する利活用ニーズを提出。

平成23年

4月・健康福祉部内で、利活用ニーズについて再検討し、保育所と老人介護の複合施設として整備する方針を決定。

5月・市公共施設検討会議にて、事業計画を報告し、府有資産を活用し、事業に取り組むことを決定。

8月・長岡京市サマーレビュー「京都府未利用地を活用した複合施設(保育園・老人介護施設)の誘致」、次年度の予算化を決定。

平成24年

- 4月・(府有地分)保育園・老人介護複合施設用地に係る土地売買契約の締結及び支払いについて(依頼)「長岡京市・乙訓土地開発公社」
府に譲渡申請書・開発公社を交えた3者契約。
- 5月・国有分(水路分)の売買契約の依頼。
- 7月・府有財産売買契約締結。
- 8月・広報「長岡京」8月1日号に募集記事掲載及び市ホームページにアップ公募・応募受付・9月18日～21日。
- 10月・保育園・小規模特養複合施設設立運営法人選定委員会・国有財産売買契約
- 11月・所有権移転に係る承諾書、運営法人決定通知(社会福祉法人和楽会)。
- 12月・乙訓土地開発公社と市で売買契約。

平成25年

- 2月・市有財産売買契約・地元説明。
社会福祉法人和楽会が、保育園老人介護複合施設の設計・各種申請手続き・建設業者の入札等を実施し、年度末から工事に着手。

平成26年

11月竣工に向けて、現在、工事中である。

b、成果と今後の課題。

施設の実現に漕ぎ着けたが、初めての事なので、運営する、社会福祉法人、和楽会と協議しながら、進めて行きたい。

視察の経過

長岡京市役所会議室において、長岡京市、議会事務局次長・河北昌和氏より、歓迎の挨拶と、議会の副議長、福島和人氏より挨拶があり、その後、会派の代表である相沢祐司議員より訪問の経緯と御礼の挨拶をし、訪問の趣旨である、保育園・老人介護複合施設整備事業のプランについて、別添資料にもとずき、長岡京市、健康福祉部・参事の則武和夫氏より資料に基ずき説明をうける。

別途資料添付

- 1・長岡京市・保育園・小規模特養複合施設・設立運営法人募集要項。

考 察

保育園・小規模特養との複合施設は、まだ聞いた事が無かったので、どの様な運営になるのか期待して伺った、基本は、追いつかない施設造りに、地域に密着した小規模多機能の福祉施設に保育園を複合し、魅力ある施設とした考えに、段階の世代の私として賛同するもので、新しい取り組みに挑戦する考え方に感心すると共に、運営の成功を願い、施設が開設したら、もう一度訪ねたいと思った。

2・認知症施策総合推進事業について.

長岡京市・認知症施策総合推進事業説明資料に基づいて、則武和夫氏から説明を受けました、その推進の基は京都府の原資であり、府100%の支援で7事業を展開しておりその4事業は委託であります、市内に2ヶ所の医院があり、先生が良く協力している

認知症地域支援推進委員の設置・認知症介護予防講座・認知症初期集中支援チーム・認知症対応型カフェ事業・認知症サポーターの養成・認知症高齢者安らぎ支援事業・おでかけあんしん見守り事業を実施しており、資料により説明をいただきました。

別途添付資料

長岡京市認知症施策総合推進事業・認知症対応型カフェ事業・高齢者福祉のしおり・おみまでかけあんしん見守り事業・あんしん見守り隊。

考察

ここまで推進できるのは、医院の先生方の協力と市の職員の熱意があればこそとあらためて敬意を抱きました。

当市でもサロン事業を展開しているが、まだ少ない、なにがネックになつて取り組まないのか調査し事業の展開を推進する必要がある。

行政視察報告書

平成26年7月28日

視察場所 ・ 岐阜県岐阜市

視察月日 ・ 平成26年7月10日

1. 岐阜市の概要

面積・202,89km²

人口・413,136人 ・ 世帯数・166,288世帯

交通・JR東海道本線・高山本線・名鉄名古屋本線・各務原線・竹鼻線・東海北陸自動車道・国道21・22・156・157号他。

主要事業所・(株)十六銀行・濃飛倉庫運輸(株)・昭和コンクリート工業(株)・(株)トーカイ・岐阜プラスチック工業(株)。

特産品・岐阜提灯・岐阜和傘・岐阜うちわ・岐阜油紙・のぼり鯉・富有柿・大根・守口大根・枝豆・いちご・花機・鮎・鮎菓子・鮎料理・長良ワイン等。

観光・岐阜長良川鵜飼・長良川温泉・長良川プロムナード・川原町界限・岐阜城・金華山ロープウェイ・岐阜公園・織田信長公館跡・名古屋昆虫博物館・岐阜大仏・常在寺・崇福寺・岐阜シティタワー43展望室・黄金の織田信長公像。

視察調査事項

1、まちなか歩き構想関連事業について

a、事業の経緯について。

歴史文化の地域資源を点から線にし共通するテーマごとに周遊ルートを設定し周遊路の整備や魅力拠点を創造し歩いてゆつたり時間を楽しむ。

b、成果と今後の課題。

歩行者の交通量や岐阜城の入場者の増加等があり、観光客の通過型から滞在型への変化、みやげ物の売り上げの増加により税収の増加等。

視察の経過

岐阜市役所会議室において、岐阜市、議会事務局・長屋文敏氏つぷより、歓迎の挨拶があり、その後、会派の代表である相沢祐司議員より訪問の経緯と御礼の挨拶をし、訪問の趣旨である、まちなか歩き構想関連事業について、別添資料にもとずき、岐阜市、都市建設部長・日野氏より資料に基づき説明をうける。と

別途資料添付

1・岐阜市・まちなか歩き構想について。

各地区の整備構想、参考資料1・2・3、岐阜公園基本計画、視察概要図、まちなか歩きマップ、自転車散策マップ・まちなか歩きガイド、岐阜長良川の鵜飼。

考 察

大型台風の接近で雨の降る中、会議室で計画等を研修後、岐阜公園から長良川まで現地を視察、公共サインや、足元表示などここまで気を配った配慮をして整備しているのかと感銘を受けた。

雨の都合で多くを見る事が出来なかったが、職員の熱気が伝わって来ました、当市もこれからであります、西方面のコース、雷神山方面のコース、貞山堀を中心に東のコースとコース設定をし、どうすれば散策が可能か検討から始めなければと思った。

行政視察報告書

平成26年7月28日

視察場所 ・ 愛知県瀬戸市

視察月日 ・ 平成26年7月11日

1. 岐阜市の概容

面積・111,61km²

人口・132,224人 ・ 世帯数・51,488世帯

交通・名鉄瀬戸線・愛知環状鉄道・東海環状自動車道・国道・155・245・363号他。

主要事業所・瀬戸信用金庫・リンナイ(株)瀬戸工場・(株)東芝愛知工場。

特産品・陶磁器等。

観光・窯垣の小径・県陶磁資料館・瀬戸蔵・新世紀工芸館・本業窯・深川神社・窯神社
・岩谷堂・定光寺・ノベルティ・こども創造館・道の駅瀬戸しなの。

視察調査事項

1、アグリカルチャーネットワークについて

a、計画策定の経緯について

構想の基本として、地域の活性化と地域振興であり、そこに市民の参加を呼び込み、新たな産業の創出と地域資源を活用した、観光戦略です。

B、成果と今後の課題

視察の経過

瀬戸市役所会議室において、瀬戸市、議会事務局・伊藤照彦氏と、議会の副議長・戸田由久氏より歓迎の挨拶があり、その後、会派の代表である相沢祐司議員より訪問の経緯と御礼の挨拶をし、訪問の趣旨である、アグリカルチャーネットワーク、構想関連事業について、別添資料に基づき、瀬戸市、農政課・平賀氏より資料に基づき説明をうける。

別途資料添付

1・瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク構想と実践。

考 察

台風一過の暑いなか、瀬戸市会議室で平賀氏から資料を基に説明を受けました、まつ黒に日焼けした顔は、現場での実践を伺わせている、遊休地を田畑に手作業で開墾し、田植えまでこぎつけた話、猪に田畑が荒らされ苦労した事、農業に従事する人材育成のため、農業塾の開講、収入の為、道の駅等との連携や付加価値を高めるための

加工品づくりなど、実践による説明に、これほどまで、熱心に取り組む職員がいるのかと驚きと感銘を受けた。

当市の現状を話すと、農業経営の理想に向かって進んでいる等の評価と、そこまで進めない人や家庭菜園の今後の方向性を考えさせられ、当市もこれ程、熱意ある指導が出来る職員がいたらと思いました。